

1. 基本情報 評価対象年度 ( 30 年度)

施策コード	331		施策名	青少年の健全育成				
将来像	3	子どもたちを健やかに育むまち(「人づくり」の分野)						
まちづくりの基本目標	33	青少年や若者が希望や夢を持つことができるまち						
主担当部	子ども家庭部		主担当課	児童センター		主担当係	児童青少年係	
担当者	田村 晶子		役職	子ども家庭部		内線	240	
関係課	企画課	地域包括ケア推進課	子育て支援課	子ども家庭支援センター	教育総務課	指導課	生涯学習スポーツ課	

2. 施策の方向

10年後の姿	次代を担う青少年が自己実現をしながら幸せで自立した社会生活を送っています。大人は子どもの人権を大切にし、乳幼児期から青年期までのライフステージを見守り、育ちを支えています。							
施策の方向性	1	青少年の人間性・社会性を育みます						
	2	悩みや問題を抱える青少年に寄り添った支援をします						
	3	地域を上げて青少年を育成する体制を整えます						
	4	青少年の居場所を充実します						

3. 構成事業の状況 (単位:千円)

No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成29年度決算	平成30年度決算	平成31年度予算
0102010801	計画行財政推進事業	対象	4	企画課	4,688	6,229	6,791
0103020106	子ども・子育て支援事業	対象	すべて	子育て支援課	261	1,617	3,482
0103020501	青少年問題協議会事業		3	児童センター	1,962	1,723	1,745
0103020503	青少年委員活動事業		3	児童センター	1,097	975	1,098
0103020504	放課後子ども教室推進事業	対象	3, 4	児童センター	25,740	25,480	27,799
0103020804	児童センター事業		すべて	児童センター	6,177	6,795	5,600
0103020902	子ども家庭支援センター事業	対象	すべて	子ども家庭支援センター	53,010	54,603	53,679
0103020910	子供食堂推進事業	対象	3, 4	子ども家庭支援センター	0	0	2,160
0110010206	奨学資金貸付事業		3	教育総務課	2,160	1,200	1,200
0110010302	教育相談センター運営管理事業	対象	1, 2	指導課	7,626	7,593	5,676
0110010313	学力向上推進事業	対象	3	指導課	44,608	40,001	49,278
0110050105	成人式開催事業		1, 3	生涯学習スポーツ課	113	218	202
0110060103	スポーツ推進委員活動事業		1	生涯学習スポーツ課	1,735	1,908	1,926
0110060105	学校体育施設等開放事業		1	生涯学習スポーツ課	42	139	58
0110060201	清瀬内山運動公園等管理事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	181,311	91,149	94,777
総事業費(施策の合計)					330,530	239,630	255,471

4. まちづくり指標

指標情報				平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和3年度	令和7年度	
①	名称	市内の子どもや若者は健全に育っていると思う人の割合		目標値	—	—	—	50	55
	説明	単位	%	実績値	48.2	—			
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	—			
②	名称	子どもや若者が地域で見守られていると思う人の割合		目標値	—	—	—	33	38
	説明	単位	%	実績値	32	—			
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	—			

5. 評価(平成30年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果 (「3. 構成事業 の状況」「4. まち づくり指標」)に 対する評価	総合評価 (成果、投入財源等 を総合的に評価)	維持
子育て支援対策や青少年の居場所の環境整備を継続して実施した。 また、青少年の育成に各種スポーツの記録会、大会の開催や、青少年委員を通したけん玉で、 達成感や協調性を学ぶことにより、自己肯定感が高まり、青少年の健全育成が図られた。(仮称) 清瀬市南口児童センターの整備については、基本構想の検討に向けてジュニアリーダーズのメン バーによるワークショップを開催し、子どもの観点から児童館のあるべき姿について意見を聴取し た。清瀬市子育て会議を開催し、「子ども・子育て支援事業計画」に関する進捗管理を行った。		

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
 維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
 停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由
市民ニーズ の状況	少子化の進展に加えて、人間関係の希薄化や ひきこもりの問題などが顕在化し、青少年育成 への関心や期待が高まっている。	3. 施策の必要性を高める	複雑な社会環境の中において、地域で青少年育成に 取り組むことがますます求められる。
将来人口 の推移	今後、対象となる子どもは減少する見込みである 中、将来を担う青少年の育成の施策は重要である。	3. 施策の必要性を高める	少子化対策のためにも子育て施策の充実が必要とされる。
他自治体 との比較	近隣市に比べて整備されたサッカー場があり、 サッカーの大会や各クラブの練習が頻繁に行わ れている。	1. 施策遂行に役立つ・有利	スポーツを通じた青少年育成ができる。
民間企業・NPO ・市民の動向	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 を契機に、NPOや企業のスポーツビジネスへの 参入、スポンサーなど露出度が高くなっている。	1. 施策遂行に役立つ・有利	これまで以上にスポーツに関心が高まることで、スポー ツを通して青少年への啓発活動への情報提供など重要な 役割を担う。
法・制度改正 の動向	子ども・子育て支援新制度において、平成31年 度までに、放課後学童クラブの拡充(全国で約 30万人の受け皿)や放課後子ども教室と一体的 に、又は連携して実施することが謳われた。	3. 施策の必要性を高める	制度改正に伴い既存事業の見直しを行い、より実態に 合った事業展開が期待される。

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める 上での課題	既存の「子ども・子育て支援事業計画」の終了期間が平成31年度末であることから、次期計画の策定に取り組まなければならない。 その中では、「子どもの貧困」に対する支援、居場所づくり等の検討もする必要がある。		
	関連する 事務事業名	子ども・子育て支援事業		
	現在の取組 状況	平成30年度はニーズ調査と子どもの生活実態調査を実施した。		
	令和2年度 以降の取組	令和2年度から新たな子ども・子育て支援事業計画が開始となる。		
②	施策を進める 上での課題	放課後子ども教室について、子どもの安全・安心な居場所としての機能を見直すうえで、実施時期も含め見直しを検討していく必要がある。また、場所の確保が困難な状況になってきていること、コーディネーターや学習アドバイザーの高齢化等による後継者の人員確保も課題である。		
	関連する 事務事業名	放課後子ども教室推進事業		
	現在の取組 状況	全校において放課後子ども教室を実施している。		
	令和2年度 以降の取組	放課後子ども教室は、学校の余裕教室を使用して実施することを基本にしている。放課後子ども教室は子どもの安全な居場所として市民から認知され期待もされている事業であるが、場所の確保、実施時期の再検討等を行い、継続実施できるようにする。		
③	施策を進める 上での課題	(仮称)清瀬市南口児童センターの整備について、公共施設再編の取り組みの方向性を踏まえて整備の検討が求められている。		
	関連する 事務事業名	計画行財政推進事業	児童センター事業	
	現在の取組 状況	子育て世代の市民やジュニアリーダーズのメンバーによるワークショップを開催した。		
	令和2年度 以降の取組	多世代が交流できるような複合施設として公共施設再編と連動して進めていく。		